



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 カップ・クリエイティブ株式会社  
 コード番号 7421 URL <https://www.kappa-create.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山角 豪  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 志村 葵 TEL 045-224-7095  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日—  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	34,820	5.2	△726	—	△728	—	△1,011	—
2022年3月期第2四半期	33,092	7.6	△2,063	—	△1,970	—	152	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △998百万円（—%） 2022年3月期第2四半期 121百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△11.95	—
2022年3月期第2四半期	3.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	31,100	10,737	34.2	215.77
2022年3月期	31,648	11,727	36.8	235.80

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,646百万円 2022年3月期 11,633百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2023年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,762	8.3	986	—	971	—	535	△27.3	10.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2022年11月8日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	49,414,578株	2022年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	71,597株	2022年3月期	77,597株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	49,388,719株	2022年3月期2Q	49,334,038株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料・決算説明会内容の入手方法）

当社は、2022年11月16日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会をLIVE配信で開催する予定です。この説明会の資料については、後日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大があったものの、社会活動の正常化が進み、景気は緩やかに持ち直してきております。その一方、欧米を中心とした金融引き締めにより円安が進むとともに燃料や原材料をはじめとする物価の上昇が続いており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社の主力事業である回転寿司事業におきましては、2021年5月の「かっぱ寿司 うまい！品質宣言」以降、基礎商材のブラッシュアップを行い、商品力の強化に取り組んでまいりました。また、直近で改装した店舗につきましては、自動案内システムやセルフレジ、ご自身のスマートフォンがタッチパネル替わりになる「スマホオーダー」を導入し、非接触型のサービスを強化しております。今後も随時各店に導入を進めていく予定です。店内ではウィズコロナにおける感染症予防対策を行い、安心してお食事をお楽しみいただける店舗づくりに取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は348億20百万円（前年同四半期比5.2%増）、営業損失は7億26百万円（前年同四半期は営業損失20億63百万円）、経常損失は7億28百万円（前年同四半期は経常損失19億70百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は10億11百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億52百万円）となりました。

なお当社は、2022年9月30日に元役員及び社員が不正競争防止法違反の疑いがあるとして逮捕されたことを受け、2022年10月2日に同法違反の両罰規定に基づき東京地方検察庁に書類送検され、2022年10月21日に元役員及び社員と共に同規定に基づき起訴されております。この度の事態により、関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。当社では、営業秘密管理を含むコンプライアンス教育を継続不断的の取り組みとして実施し、より一層強化し徹底してまいり所存です。

また、新たに当社代表取締役社長に山角豪が就任いたしました。山角は、株式会社アトムの前代表取締役との兼任状況になりますが、今回の就任は緊急的なもので、役割責務を適正に遂行するために必要となる時間・労力を確保できる合理的な範囲であると考えられることから、当社業務執行に支障が無いと判断しております。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

#### <回転寿司事業>

回転寿司事業におきましては、ネタはもちろんの事、シャリやわさびなどにもこだわり、寿司の完成度を高める商品開発に取り組んでまいりました。「うまい！」かっぱ寿司を多くのお客様に実感していただきたいという思いから、タレントを起用したテレビCM放映、TVアニメや映画とコラボしたアプリ会員向けのオリジナルグッズプレゼントキャンペーンを実施いたしました。また、お手頃価格で楽しんでもらえるよう、かっぱ寿司の原点である「一皿100円（税込110円）」商品を大幅に拡大いたしました。さらには、「大とろ」・「うに」などの高付加価値商品をお手頃価格にて期間限定販売し、お客様の店舗体験価値の向上に努めてまいりました。今後も「うまい！」を多くのお客様に体験してもらうため、テレビCMやアプリ会員向けの企画、Twitterキャンペーンなどの施策を実施してまいります。

一方、コストにおきましては、原材料価格や物流費及び人件費の高騰などといったコストアップへの懸念が顕在化してきておりますが、ロス低減の取り組み強化、店舗改装による最新設備の導入による生産性向上などに取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間においては、23店舗の改装を実施いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、賃貸契約終了による4店舗の閉店を行った結果、当第2四半期連結累計期間末で305店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における回転寿司事業の売上高は277億12百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

<デリカ事業>

デリカ事業におきましては、コンビニエンスストアを中心とした寿司弁当、調理パン等の新規取引先の拡大、既存顧客の販売強化に取り組んでおりますが、社会活動の正常化が進んだことによる巣ごもり需要の縮小等により、売上高が前年同四半期比で減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるデリカ事業の売上高は71億7百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結累計期間における総資産は311億円となり、前連結会計年度末に比べ5億48百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が3億97百万円減少、売掛金が89百万円増加、リース資産が1億5百万円減少、敷金及び保証金が1億55百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結累計期間における総負債は203億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億41百万円増加いたしました。これは主に買掛金が3億37百万円増加、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が2億90百万円減少、社債及び1年内償還予定の社債が5億75百万円減少、未払金及び長期未払金が10億32百万円増加、リース債務及び1年内返済予定のリース債務が42百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間における純資産は107億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億90百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失10億11百万円により利益剰余金が減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが14億71百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローが3億98百万円減少、財務活動によるキャッシュ・フローが14億71百万円減少した結果、前連結会計年度末より3億97百万円減少し、90億9百万円（前連結会計年度末は94億7百万円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、14億71百万円（前年同四半期は得られた資金1億12百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失8億58百万円、減価償却費10億円、売上債権の増加89百万円、仕入債務の増加3億37百万円、未払金の増加2億6百万円、助成金の受取額7億77百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億98百万円（前年同四半期は得られた資金43百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億16百万円、敷金及び保証金の回収による収入39百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、14億71百万円（前年同四半期は得られた資金4億17百万円）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出6億90百万円、社債の償還による支出5億75百万円、割賦債務の返済による支出5億64百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2022年11月8日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。尚、今後の消費動向等により業績予想に修正が必要となる場合は速やかに公表いたします。

また当社は、元役員及び社員が不正競争防止法違反の疑いがあるとして2022年9月30日に逮捕されたことを受け、2022年10月2日に同法違反の両罰規定に基づき東京地方検察庁に書類送検されました。また、2022年10月21日に元役員及び社員と共に同規定に基づき起訴されております。

本件において今後の推移によって当社の将来の連結業績に影響を及ぼす可能性があります。現時点でその影響額を合理的に見積もることが困難であるため、四半期連結財務諸表には反映をしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,407	9,009
売掛金	3,031	3,120
商品及び製品	337	371
原材料及び貯蔵品	344	410
その他	1,565	885
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	14,685	13,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,794	26,740
機械装置及び運搬具	5,525	5,984
工具、器具及び備品	7,123	7,764
土地	1,645	1,645
リース資産	1,481	1,375
建設仮勘定	1	—
減価償却累計額	△31,555	△31,837
有形固定資産合計	11,015	11,673
無形固定資産	251	208
投資その他の資産		
投資有価証券	850	851
敷金及び保証金	4,001	3,846
繰延税金資産	607	545
その他	210	158
貸倒引当金	△9	△2
投資その他の資産合計	5,661	5,399
固定資産合計	16,928	17,281
繰延資産		
社債発行費	34	24
繰延資産合計	34	24
資産合計	31,648	31,100

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,851	3,189
1年内返済予定の長期借入金	980	1,380
1年内償還予定の社債	1,015	730
未払金	2,018	2,434
未払費用	1,501	1,517
リース債務	66	39
未払法人税等	182	93
賞与引当金	110	116
販売促進引当金	149	136
その他	614	692
流動負債合計	9,491	10,329
固定負債		
社債	1,170	880
長期借入金	5,550	4,860
長期未払金	1,998	2,616
リース債務	15	—
資産除去債務	1,544	1,546
その他	150	130
固定負債合計	10,429	10,033
負債合計	19,921	20,362
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	10,998	11,001
利益剰余金	650	△360
自己株式	△71	△65
株主資本合計	11,678	10,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△3
繰延ヘッジ損益	△41	△25
その他の包括利益累計額合計	△44	△29
非支配株主持分	93	90
純資産合計	11,727	10,737
負債純資産合計	31,648	31,100

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
売上高	33,092	34,820
売上原価	17,038	17,140
売上総利益	16,054	17,679
販売費及び一般管理費	18,118	18,406
営業損失（△）	△2,063	△726
営業外収益		
受取利息	19	15
受取配当金	56	50
受取家賃	110	121
自動販売機収入	17	3
協賛金収入	3	2
雑収入	69	26
営業外収益合計	275	220
営業外費用		
支払利息	42	74
社債利息	15	8
賃貸収入原価	99	107
雑損失	24	31
営業外費用合計	182	222
経常損失（△）	△1,970	△728
特別利益		
固定資産売却益	217	—
助成金収入	2,378	—
特別利益合計	2,595	—
特別損失		
固定資産除却損	76	130
臨時休業等による損失	305	—
特別損失合計	382	130
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	243	△858
法人税、住民税及び事業税	70	93
法人税等調整額	△5	61
法人税等合計	64	155
四半期純利益又は四半期純損失（△）	178	△1,014
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	25	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	152	△1,011



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	178	△1,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	△56	15
その他の包括利益合計	△56	15
四半期包括利益	121	△998
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	95	△995
非支配株主に係る四半期包括利益	25	△3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	243	△858
減価償却費	971	1,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	21	5
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△2	—
受取利息及び受取配当金	△75	△66
支払利息及び社債利息	58	83
固定資産除却損	76	130
固定資産売却損益(△は益)	△217	—
助成金収入	△2,378	—
臨時休業等による損失	305	—
売上債権の増減額(△は増加)	736	△89
棚卸資産の増減額(△は増加)	△122	△98
仕入債務の増減額(△は減少)	△507	337
未払金の増減額(△は減少)	8	206
未払費用の増減額(△は減少)	△84	15
未収消費税等の増減額(△は増加)	15	54
未払消費税等の増減額(△は減少)	△293	26
その他	450	131
小計	△793	880
利息及び配当金の受取額	75	66
利息の支払額	△73	△81
臨時休業等による支払額	△286	—
助成金の受取額	1,293	777
法人税等の支払額	△103	△171
営業活動によるキャッシュ・フロー	112	1,471
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△586	△416
有形固定資産の売却による収入	730	—
無形固定資産の取得による支出	△82	△7
敷金及び保証金の差入による支出	△41	△4
敷金及び保証金の回収による収入	48	39
その他	△25	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	43	△398
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,000	—
長期借入れによる収入	6,000	400
長期借入金の返済による支出	△90	△690
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△61	△42
社債の償還による支出	△845	△575
割賦債務の返済による支出	△586	△564
配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	417	△1,471
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	572	△397
現金及び現金同等物の期首残高	7,924	9,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,497	9,009

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

（四半期連結貸借対照表）

前連結会計年度において、従来「流動負債」の「株主優待引当金」と表示していた科目名称を、直近の状況を鑑み、より実態に即した明瞭な表示とするために、当第2四半期連結会計期間より「販売促進引当金」に変更しております。

（重要な後発事象）

当社は、元役員及び社員が不正競争防止法違反の疑いがあるとして2022年9月30日に逮捕されたことを受け、2022年10月2日に同法違反の両罰規定に基づき東京地方検察庁に書類送検されました。また、2022年10月21日に元役員及び社員と共に同規定に基づき起訴されております。

本件において今後の推移によって当社の将来の連結業績に影響を及ぼす可能性があります。現時点でその影響額を合理的に見積もることが困難であるため、四半期連結財務諸表には反映をしております。